第２０回スポーツ協会長杯少年アイスホッケー大会

新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

【保護者観戦ガイドライン】

1. 入場は、選手の家族2親等までとする。（兄弟ではないBチーム選手の入場は認めない。）
2. 試合開始３０分前より入場可能
3. マスクは、常時着用
4. ３密を避けるとともに、声を出しての応援はしない。
5. 小さい子供を歩き回らせない。
6. 観戦者の名簿、体温をオフシャルボックス（連盟）に提出する。（名簿は、各チーム用意する）
7. 名簿は毎試合提出する。
8. 観戦者は、細尾ドームリンク正面入口から入場し2階席へ上がる。
9. 専用口は、選手、スタッフ、役員のみの入口
10. 決められたブロックのみで観戦する。（他チームの観戦ブロックへの移動は禁止）
11. 各チームの保護者観戦人数は、３０名以内とする。（両チーム合わせて６０名以内）
12. 観戦後は、各チーム椅子、手すりを消毒する。（消毒液、除菌シート等は各チーム持参）
13. 試合終了後、１５分以内に退場する。
14. オフシャル担当者は、別紙「大会等におけるオフィシャルガイドライン」を参考に担当ごとに感染対策を行う。担当者以外は、オフィシャル席に入れない。
15. リンク内では、飲み物以外の飲食は不可とする。（リンク外での飲食かとする。※ごみは持ち帰る。）
16. トイレは、選手、スタッフ、オフィシャル、観戦者が同じトイレを使用するが、できる限り選手・スタッフと接触しないように注意する。使用後は速やかに各自の定められたエリアに戻る。

※入退場時間に関して、連盟スタッフ、細尾ドームリンク職員は対応しませんので、各チームの会長さんを中心に時間、ルールを徹底して行動してください。

※守れないチームは、観戦できなくなります。

【選手・スタッフガイドライン】

1. 体調を確認し少しでも体調の悪い選手、スタッフは参加させない。
2. 選手は、試合中はマスクを外してよいが、それ以外はマスクを着用する。※スタッフは、常時マスク着用
3. 家族や身近に感染が疑われる人がいる場合は参加させない。
4. 参加選手、スタッフの名簿、体温をオフシャルボックス（連盟）に提出する。（名簿は、各自用意する）
5. 名簿は毎試合提出する。
6. リンク内への入場開始は、前の試合がスタートしてから入場開始となる。
7. 選手、スタッフは、専用口からのみ入退場する。
8. 他チームの選手と試合以外では接触しない。
9. 試合以外では、マスクを常時着用する。スタッフは、常時マスク着用。
10. 2階席へは、上がらない。
11. 控室は、使用可能。入室しての着替えは15名以内とする。（それ以外の選手はリンクサイドで着替える）（マスク着用、ソーシャルディスタンスを保つ）
12. 控室の扉は閉めない。
13. 試合前や製氷中のミーティングは、控室で行ってもよいが、次のことを守って行う。

・ドアを開ける　・マスクを着用する　・選手同士の距離を空ける　・大声を出さない

1. 試合終了後のミーティングは、退場後、外で行う事。
2. 試合終了後、会話せず速やかに退場の準備をし、20分以内に外へ出る事。
3. 試合終了後、ベンチ、ベンチ内の触ったフェンスを各チーム消毒する事。（チームスタッフが行う。）
4. 大会前、大会期間中にチーム内から数名の発熱者が発生した場合、連盟との協議の上、大会棄権もあり得ることを理解し、普段の生活に細心の注意を払う。
5. 大会当日、発熱が確認された場合は、速やかに帰宅させ、会場への集合は避ける。
6. 大会期間中、エントリー者の中から陽性者が確認された場合、当該チームは棄権とし、０－１５の結果とする。

【試合中の選手・スタッフガイドライン】

1. ブルーライン整列は、最低１ｍの距離をとって整列する。
2. レフェリーとの接触を避け、握手をせずに距離をとって礼のみ行う。
3. 選手・スタッフはベンチ内では大声を出さない。
4. ベンチ内の選手は、交代選手・ドアマンを除き着席する。
5. 試合終了後、レフェリーや相手選手へのあいさつは行わない。
6. 試合中のルーズパックを、選手は拾わない。（ラインズマンが拾う。）
7. 得点を決めたり、試合に勝利したりした際に、ハイタッチをしたり、抱きあったりしない。
8. 水分補給をする際、各自のボトルを用意し、回し飲みをしないようにする。
9. 各ピリオド間のミーティングは、プレイヤーズベンチで行う。
10. ペナルティーベンチでは、選手同士の距離を空け、会話をせず、ペナルティー残り３０秒までは座って待つ。

ヘルメットは外さない。大声を出さない。